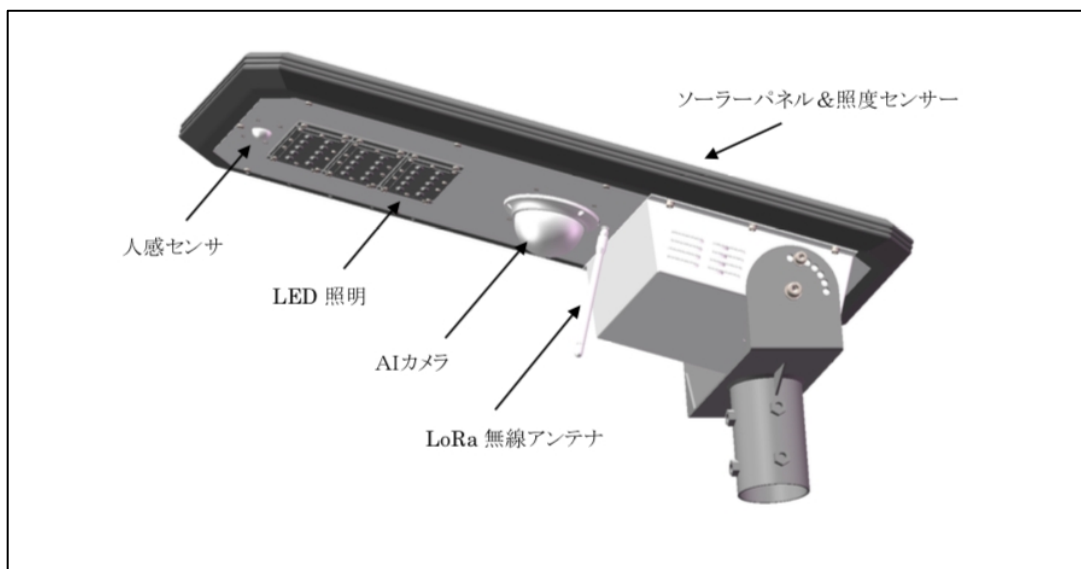


mtes Neural Networks
電源、ネットワーク工事不要の AI カメラ付き LED 防犯街路灯
「AI マキビシカメラ&アルカス防犯・街路灯」を
11月30日に発売
～災害時などの照明確保や子ども・高齢者の見守りにも利用可能～

IoT(モノのインターネット)技術開発の mtes Neural Networks 株式会社(エムテス ニューラル ネットワークス 所在地:東京都品川区、代表取締役社長 CEO:原田 隆朗、以下、mtesNN 社)は、人工知能(AI)監視カメラ付き LED 屋外照明「AI マキビシカメラ&アルカス防犯・街路灯(以下、本製品)」4種類を2018年11月30日に発売します。本製品は、LED 照明メーカーの株式会社スリーエス(所在地:東京都中央区、代表者:代表取締役 島崎 宗久)と共同で開発、電源とネットワーク工事が不要な、太陽光発電による完全自立型の屋外照明です。

近年、多発している自然災害による停電への対が求められています。また、刑法犯罪は減少傾向にあるものの、子どもや高齢者の見守りの要請は年々高まっています。

これらの要請に応えるために、mtesNN はこれまで培ってきた IoT、AI 技術を、スリーエスは LED の屋外照明の技術を使い、本製品を開発しました。両社の技術を駆使することで、同等性能の防犯・街路灯の設置費用に比べ、半分以下の予算での設置を可能にしました。クラウド使用料金や LoRa 無線通信にかかる少額のランニングコストはこれまで同様に必要になりますが、初期の設置で負担になっていた電源工事や有線によるネットワーク工事が不要になりました。その結果、これまで断念していた場所で街路灯や防犯・監視カメラが容易に設置できます。具体的には公園や駐車場、商店街や路地、山道などです。



■製品概要

製品名: AIマキビシカメラ&アルカス防犯・街路灯

特徴: 太陽光パネルによる自家発電(発電量)

蓄電池搭載による停電対策(夜間10時間使用で約9日間)

ローカルメモリ付き AI カメラとクラウドによるデータ保存



LoRa 通信による通信料金低減と停電時の画像通信の確保
超画像圧縮技術による 3 枚/秒の高画質画像送信と保存
AI カメラによる学習機能(顔認証やイベント学習)
広角 220 度レンズ搭載による広範囲撮影

性能:(別紙仕様書にて)

タイプ:15W 30W 45W 60W(オープン価格)

mtesNN とスリーエスは、実質的な設置、導入、ランニングコストを他社同等製品と比較して 1/2 から 1/3 に抑えられるとして、初年度(2019 年 3 月末)2 万灯、2020 年までに国内と海外市場で 100 万灯の設置を目指します。

■ mtes Neural Networks 株式会社

- ・社名 : mtes Neural Networks 株式会社
- ・代表者 : 代表取締役社長 CEO 原田 隆朗
- ・設立 : 2015 年 3 月
- ・資本金 : 資本金 715,575,000 円(資本準備金:675,575,000 円)
- ・所在地 : 東京都品川区西五反田 7-22-17 TOC ビル 11 階
- ・事業内容 : IoT プラットフォーム事業
AI/IoT システム事業
デバイス/モジュール事業
ストック型サービス事業

ホームページ : <https://mtesnn.jp/>

プレスルーム : <http://prweb.jp/mtes/>

■ 株式会社スリーエス

- ・社名 : 株式会社スリーエス
- ・代表者 : 代表取締役 島崎 宗久
- ・所在地 : 東京都中央区八丁堀 3-11-12 大基ビル 1 階
- ・資本金 : 10,000,000 円
- ・事業概要 : LED(発光ダイオード)を利用した光源商品の企画、設計、販売
- ・ホームページ : <http://www.i-sss.jp/>

< 本件に関するお問い合わせ先 >

mtes Neural Networks 株式会社 記者発表会・広報事務局

【PR エージェント】株式会社 AGENCY ONE

TEL : (大久保)080-3708-4500 (荒木)080-3708-5075 (田端)090-4189-5378

メール: press@agency1.co.jp